

令和3年度(第2回)認定
免許状更新講習一覧(選択領域)「受講者が任意に選択して受講する領域」

開設者名	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数
作新学院大学	【選択】小学校のプログラミング教育	小学校におけるプログラミング教育で育成する資質・能力の中で、特に「プログラミング的思考」についてその趣旨を確認すると共に、「プログラミング的思考を育成する学習活動」をテーマに講習を進める。プログラミング的思考の理解、プログラミングの基礎と応用、プログラミング的思考を意識したカリキュラムと教材の活用について理解する。本講習はインターネットを用いた講習となり、講義はオンデマンド型、質問への回答は同時双方向型で行う。講義は8/17のみ、質問への回答は同時双方向型で当日行い、8/17～8/27は試験期間とする。	高山 裕一(人間文化学部特任教授)	インターネット	6時間	令和3年8月17日～ 令和3年8月27日	教諭	小学校教諭向け	6,000円	20人
作新学院大学	【選択】子どもの社会的自立と社会参画—発達段階に応じた主権者教育・消費者教育を中心に—	子どものとらえ方や、取り巻く環境は、時代により変化しており、教育の在り方にも大きな影響を与えている。その一つとして、18歳選挙権・18歳成年の成立に伴い、新学習指導要領等は、幼・小・中・高・特別支援学校において、発達段階に応じた主権者教育・消費者教育の一層の充実を求めている。そこで、子どもたちが成長していく過程で直面する様々な課題や、現在及び将来を生きる子どもたちに身に付けさせなければならない資質・能力について、学校における主権者教育・消費者教育の在り方を通して学ぶ。インターネットを用い、講義はオンデマンド型、質問への回答は同時双方向型で8/19のみ行い、試験期間は8/19～8/30とする。	川原 健太郎(人間文化学部准教授) 木村 直人(人間文化学部特任教授)	インターネット	6時間	令和3年8月19日～ 令和3年8月30日	教諭	幼稚園、小学校、 中学校、高等学校、 特別支援学校教諭向け	6,000円	40人
作新学院大学	【選択】学校教育における体育・スポーツの多角的な活用	運動参加頻度の二極化や体力低下が指摘される今、子どもの体力・運動能力の向上は学校教育が担う役割と言える。また、体育・スポーツに関連する活動は、連帯感の醸成や社会的スキルの習得といった観点から、部活動や様々な教育現場で応用することが可能である。本講習では、こうした体育・スポーツの多角的な活用可能性に着目し、教育活動を豊かにする方策を「体育・スポーツ」という切り口から考察する。本講習はインターネットを用いた講習となり、講義はオンデマンド型、質問への回答は同時双方向型で行う。講義は8/20のみ、質問への回答は同時双方向型で当日行い、8/20～8/30は試験期間とする。	石川 智(経営学部講師) 斉藤 麗(経営学部准教授) 今宿 裕(経営学部講師) 小林 育斗(北海道教育大学教育学部准教授)	インターネット	6時間	令和3年8月20日～ 令和3年8月30日	教諭	幼稚園、小学校、 中学校、高等学校、 特別支援学校教諭向け	6,000円	40人
作新学院大学	【選択】支援対象者の動機づけに配慮した心理的・福祉的関わり	本講習では、主に幼稚園における子どもや保護者への関わりを想定した講義を予定している。前半では、動機づけについて、心理学的な基礎知識を解説すると共に、簡単なワークを通して、教室における子どもへの関わり方を体験的に振り返る。後半では、保育者が行う福祉的な関わりについて、幼児教育の実践で活用できるソーシャルワークの基礎知識を解説すると共に、事例検討を通して、子どもや保護者に対する個別支援・集団支援、地域全体で子育てを支える地域支援を体験的に学ぶ。本講習はインターネットを用いた講習となり、講義はオンデマンド型、質問への回答は同時双方向型で8/23にのみ行う。試験期間は8/23～9/2とする。	設楽 紗英子(作新学院大学女子短期大学部准教授) 坪井 真(作新学院大学女子短期大学部教授)	インターネット	6時間	令和3年8月23日～ 令和3年9月2日	教諭	幼稚園教諭向け	6,000円	40人